

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人

ライブの情報や、レポート、日記、音源など、もりだくさんな内容でお届けします。

byacky press

復活

2010年6月にライブ休止を発表したびゃっきーがついに一年の沈黙を破り、観客の前に姿を現す。この一年の間に、びゃっきーが何をしていたのか、何を思っていたのか、その真実に迫る。また、新たなスタートを切ったいま、音楽活動再開に対する意気込み、時に言葉を詰まらせながら語った内容について、余すところなく、紙面の許す限りお伝えする。なんか一行余ったので、その他にも何かあれば、お伝えすることとする。

■低音障害型難聴
そもそもライブ活動を休止した原因は何かと言え、突発性低音障害型難聴というものでした。これは耳が低音をむやみやたらと拾ってしまい、重要な低音が聞き取れなくなるというもので、冷蔵庫の音や車のエンジン音など低い音がやたらと耳の中に回るので、低い話し声等がそれに邪魔をされてきちんと聞き取れないというもどかしいものです。それがさらに悪化して、耳の中でキンキンと別の音が鳴り始め、音楽のわかる人であれば、常に聞こえてくる音にフラッシュバックが起きたような状態になってしまいました。友人の勧めで、医者に通い始めましたが、当初は耳にする音する音がわずらわしく、常に耳栓を装着して生活していました。特に音楽が不快でいた。本来調和の取れているはずのものが、不調和に聴こえてくるため、雑多な音よりストレスがたまるという状態でした。テレビをつけるのも嫌で、これは結構大変でした。街に出ればそこかしこで音楽が鳴っていて、飯を食うのに店に入れば、やはり、テレビがついていたり、有線の音楽が流れつづけていたり、普段は気がつきませんが、本気で静かな場所というのはいかなかないものです。音楽と言わずに、音と押し付けがましいも

必携の耳栓



べっぴんさんに秘蔵の

運動することにして、何を始めるにしても、体が資本かと。
■打ち込みによる作曲の再開
耳が悪いのは左耳なのですが、ライブを休止して2ヶ月ぐらいたった頃、ふと、イヤホンをして右耳だけで音楽をやったらどうだろう、と思いつきました。もともと早く思いついても良かったのですが、最初のうちはとにかく音楽を避けたので、とりあえずミキサーで右だけに振ってヘッドホンでピアノを弾いてみたところ、若干の違和感があったけれど、これはいけるぞ、と。その後、すぐに大型電気店に、ステレオプラグのイヤホンを探しに出かけました。さすがにステレオプラグのイヤホンは見当たりませんが、ステレオプラグからモノラルプラグに変換するジャックを買いました。久々に聴いたCDは感動でした。
ただ、自分の歌声はやはり片耳のみで聞けないのはできないので、歌ものはやれませ

一年ぶり

新たな気持ちで歌う
とある棋戦で決勝まで残って、その公開対局が東京体育館で行われたので、行ったりしました。トッププロ十二人によるトーナメントが全国で行われて、東京で決勝がおこなわれるというものだったんですが、最良の棋士がたまたまその前年に賞金ランキング十二位で、ギリギリ参加資格を手にして、それが決勝まで残るといいますね。決勝では残念ながら羽生さんに惨敗しましたが、そこらへんもレポートにしてホームページにアップしたんです。興味のある方はどうぞ。なんかこんなことばっかになってきたな。(次号へ続く)